小学校　音楽

教科目標

表現及び鑑賞の活動を通して，音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育てるとともに，音楽活動の基礎的な能力を培い，豊かな情操を養う。

言語活動の充実

楽曲を聴いて想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして，楽曲の特徴や演奏のよさを理解する学習活動

思考　発信　交流　再考　発信

考えをもつ	表現する	交流し，再考する
楽曲を聴いて想像したことや感じ取ったことの理由を，音楽の中から見付けて，自分なりの意見や感想をもつ。	聴き取ったことや感じ取ったことを，音楽を形づくっている要素にかかわること，曲想にかかわることなどに分けて整理したり，自分の好きな楽曲のよさを紹介文にまとめたりする。	曲想とその変化などの特徴や音楽を形づくっている要素とのかかわり合いから感じ取ったことを，言葉などで表して意見を交換し，楽曲の特徴や演奏のよさの理解につなげる。

題材における指導例　【題材名】いろいろなひびきを味わおう　第5学年

複数の楽曲を全体にわたって聴き，想像したことや感じ取ったことなどをワークシートに記録する。	楽器の音色やリズム，速度，強弱，及び反復，問いと答えなどにかかわることと，楽曲の固有な気分や雰囲気にかかわることに分類する。 自分の選んだ楽曲のよさを紹介文にする。	想像したことや感じ取ったことを，紹介文などで伝え合い，教師や友達と意見を交換する。 感じたことや気付いたことを再度聴いて確かめ，ワークシートに書いてまとめる。

<目指す姿>

楽曲を聴いて，曲想の違いや旋律の特徴などを感じ取り，自分なりの意見や感想をもっている姿。	聴き取ったことや感じ取ったことを，分類して整理したり，伝え方を意識して楽曲のよさを紹介したりする姿。	互いが感じ取ったことなどを伝え合うことによって自分の考えを広げ，楽曲の特徴や演奏のよさを理解する姿。
＜十分満足＞ 楽曲を聴いて，楽器の音色や旋律の特徴などを手掛かりにして，自分なりの意見や感想を明確にもっている。 *＜おおむね満足＞* 楽曲を聴いて，楽器の音色や旋律の特徴などに気が付き，自分なりの意見や感想をもっている。 *<努力を要する状況の手だて>* 演奏する楽器や特徴を聴き取りやすい部分を伝え，意欲をもたせるようにする。	*＜十分満足＞* 音楽を形づくっている要素の働きが生み出すよさや面白さを感じ取って聴き，自分の言葉で具体的に表している。 *＜おおむね満足＞* 音楽を形づくっている要素の働きが生み出すよさや面白さを感じ取って聴き，言葉で表している。 *<努力を要する状況の手だて>* 音色，リズム，速度などの要素や反復などの仕組みを具体的に示し，気付きを促す。	*＜十分満足＞* 互いに感じ取ったことを共有し，自分の考えを広げ，楽曲の特徴や演奏のよさについて理解を深めている。 *＜おおむね満足＞* 互いに感じ取ったことを共有し，楽曲の特徴や演奏のよさについて理解している。 *<努力を要する状況の手だて>* 伝え方の支援や他者の考えなどの補足を通して，互いの感じ取ったことを確認させる。

中学校　音楽

教科目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して，音楽を愛好する心情を育てるとともに，音楽に対する感性を豊かにし，音楽活動の基礎的な能力を伸ばし，音楽文化についての理解を深め，豊かな情操を養う。

言語活動の充実

音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを理解して聴き，根拠をもって批評するなどして，音楽のよさや美しさを味わう学習活動

思考　発信　交流　再考　発信

考えをもつ	表現する	交流し，再考する
音楽を形づくっている要素や構造を聴取したことと，それらの働きによって生み出される曲想を感じ取ったことを基にして，自己のイメージや感情をもつ。	音楽に対する自分の解釈やイメージ，思いや意図を，客観的な理由をあげながら，自分なりの言葉で言い表したり，書き表したりして相手に伝える。	音楽に対する批評などを話し合うことにより，他者とのかかわりの中から自分の価値意識を再確認し，音楽の構造などを一層客観的に把握したり，音楽の味わいを一層深めたりする。

題材における指導例　【題材名】 オーケストラの豊かな表現を味わおう　第2学年

楽曲全体を通して鑑賞し，気付いた特徴や感じ取った曲想などをワークシートに自由にまとめる。	音楽に関する用語や記号などを用いたり，作曲の経緯や音楽の背景となる文化・歴史に触れたりしながら，感じ取ったことや考えを，自分なりの言葉を用いて記述する。	気に入ったところや他者に紹介したいところなどを発表し合い，共感したり共有したりする。

＜目指す姿＞

音楽を形づくっている要素や構造が生み出す曲想を感じ取り，自分なりのイメージや感情をもっている姿。	音楽のよさや美しさなどについて，音楽を形づくっている要素や構造などをあげながら，自分なりの感じ方や客観的な根拠，自分にとっての価値を述べている姿。	他者とのかかわりの中から自分の価値意識を再確認し，音楽の構造などを一層客観的に把握したり，音楽の味わいを一層深めたりしている姿。
＜十分満足＞ 楽曲を聴き，演奏している楽器や旋律の変化などに気付き，自分なりのイメージや感情をもっている。 *＜おおむね満足＞* 楽曲を聴き，自分なりのイメージや感情をもっている。 *<努力を要する状況の手だて>* 演奏する楽器や特徴を聴き取りやすい部分を伝え，意欲を喚起するようにする。	*＜十分満足＞* 音楽を形づくっている要素や構造を具体的に感じ取って聴き，根拠をもって批評している。 *＜おおむね満足＞* 音楽を形づくっている要素や構造を感じ取って聴き，自分の言葉で記述している。 *<努力を要する状況の手だて>* 音色，リズム，速度，強弱などの音楽を形づくっている要素を具体的に示し，感じ取った曲想とのかかわりをとらえさせるようにする。	*＜十分満足＞* 他者の感じ取ったことや考えを理解し，音楽に対する自分の価値意識を再確認したり，広げたりしている。 *＜おおむね満足＞* 話合いを通して，音楽に対する自分の価値意識を再確認している。 *<努力を要する状況の手だて>* 発表の補助や，他者の考えなどに補足を加えて理解させるようにする。